

古い寮 交流スペースに

東海学園大 学生の意見聞き改修

「二人で集中して資格の勉強をしたい」「友達と一緒に課題を進めたい」。東海学園大は4月、そういった在校生の意見を取り入れ、名古屋キャンパス（名古屋市中区）内の学生寮を大規模リノベーションした。理想の場所づくりに有志の学生たちが議論を重ね、学習や友人との交流がしやすい施設へと生まれ変わった。



リノベーションされた東海学園大の旧学生寮。ピアスラッシュが置かれ、くつろぎが交差できる。名古屋市中区で

4学部計約2千人が学ぶ同キャンパスでは、学習スペースの不足が課題だった。老朽化した寮を改修するにあたり、設計段階から学生の意見を聞き入れた。声を踏まえ、3階建ての旧学生寮の2、3階部分を改装。2階は九つのラウンジに分け、椅子や机を配置。カフェ風、ピアスラッシュを置いたりベンチ風、低い机を置いた和室風など、くつろぎが交流できる工夫を凝らした。3階には個人で学習できる空間やセミナールームなどを設けた。1階は今後、学食として利用するをいっ。

みんなで、自分で 学ぶ